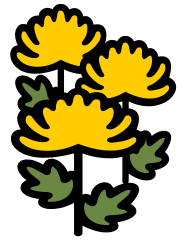




## 教育目標

- ・よく考える人になろう
- ・進んで行動する人になろう
- ・責任感の強い人になろう
- ・豊かな心をもった人になろう



## 「過ちて改めざる、是を過ちという」

校長 眞々田 透

11月もあっという間に半分が過ぎ、先週で定期考査も終わりました。3年生にとってはますます大切な時期に入ってきました。寒さも一段ときびしくなりますが、生徒たちには体調に気を付けて学校生活を送ってほしいと思います。

さて、11月の朝礼では論語という古典にふれて話しをしました。論語の中には「過ち」（ちょっとしたことから犯してしまったまちがい・失敗）について扱っているものがありますが、「過ちて改めざる、是を過ちという」という言葉があります。

「何か失敗したり、まちがいをしてしまったとき」どうするか、例えば「キャッチボールしていたら、ボールが逸れて人の家のガラスが割れてしまったとき、自分はどの行動するか」ということを生徒に問いかけてみました。

実際にこのようなことが起きれば、誰しも困ったことになった、まずいなと思うのではないのでしょうか。見つかったら、もの凄く怒られるじゃないか、大変なことになると思って、言い訳をしたり、黙ってしまったりということもあるかもしれません。

「過ちて改めざる、是を過ちという」の意味は「過ちを犯したら、その過ちを改めないのが過ちで、過ったらそれを正そうとしない態度が問題だ」ということです。どんなことをしていても、ふとした失敗は起こりうるものです。まちがってしまうことは誰にもあります。しかし、失敗したその後どうするか。どう対応するかということが問題で、まちがってしまった後が大事です。

私は子供たちができることは、素直に「ごめんなさい」と認めるということだと思います。まちがった道（行動をしたら）に進んだら、すぐに引き返して正しい道（行動をする）を進むことです。そうでないと、元に戻るまで大変です。一旦ウソをついてしまうと、さらにウソをつかなければならなくなります。隠していて、後でもっと事が大きくなっていることもあります。それでは失敗をしてもその後何も変わりません。それでは何度も何度も同じような失敗は繰り返えしてしまいます。いいことはひとつもありません。結果として、まちがいを改めて、正しい道に進むことは誰にでもできる簡単なことです。そして、失敗は、人を成長させるチャンスで、人は失敗から多くのことを学ぶこととなります。この経験が、その後の自分の人生に活かすことになると思います。ぜひ「過ちて改めざる、是を過ちという」という言葉を教訓として、素直に「ごめんなさい」と自分の行動に責任をもち、認めることができる人になってほしいと思っています。

# 本校の学力向上を図るための全体計画



## 本校の授業改善に向けた取り組み

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかる授業、個に応じた指導への取組</li> <li>・評価計画の研究</li> <li>・補充、発展学習の充実</li> <li>・授業改善推進プランの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書の充実を図りながら、落ち着いた学習態度の育成</li> <li>・長期休業中の学力補充教室</li> <li>・授業時数の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究授業を実施し、指導方法の研究を深め、生徒の主体的で意欲的な学習活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に準拠した評価を適切に行なうとともに理解を深める研修</li> <li>・指導と評価の一体化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の定着</li> <li>・家庭学習の定着</li> <li>・道徳授業地区公開講座を通じた心の教育を推進</li> </ul>